

# 清流大川

羽地中学校  
学校だより 130号  
せいりゅうおおかわ  
H30.11.16



2年2組は9日(金)、学級活動の研究授業を行いました。仕事の採用面接の場面をロールプレイで実施するもので、あらかじめ、5人の希望者には性格や役割が与えられており、なりきって演技します。

みんなは、採用面接の場面を見て、自分やグループが事業所の立場だったら、5名の内、どの3名を採用するかを話し合います。グループで決めていきました。今日の活動のねらいは、「将来に生きて働く資質・能力は何か」を考える」でした。

発表後、D・Mさんの保護者よりビデオメッセージが寄せられ、みんなで拝聴しました。Mさんのメッセージは、人生の先輩から後輩に送る生き方のメッセージで、素晴らしい内容でした。

## 採用面接で誰に決める？



## 自分に嘘はつかない 友達を大事にする



面接を見て、自分達が採用する側だったら、どんな人が良いか考えた、知ったりできて面白かったです。大斗さんのお父さんの話は、色々な思いを聞いて良かったし、将来の事を考えていきたいと思いました。(Kさん)

友達を大事にしていくことが大切だと思いました。本をいっぱい読んで、仕事についてからも本を読むことが大事だと分かりました。(Nさん)

演技が良かった。これからの自分を見つめ直したいと思いました。やっぱり、素直さと嘘をつかないというところは、当たり前のことだと思っ。当たり前にする。失敗しても反省と。どんな時もチャンスあり。(Sさん)

面接の演技を見ると、身なりや言葉づかいで相対、印象が変わると思った。ほとんどのグループがA・B・Eさんを選んでた(協力的、情報に強い、英語話せる、応答がはっきりしている)ことは、どの人から見ても印象が良いと感じた。自分に嘘はつかないで、辛いことから逃げないで生きていきたい。(Yさん)

何事にも積極的に取り組んで頑張りたいと思いました。「やりきる」ことが大事だとも思いました。(Uさん)

今後の自分の生活で大事にしていきたいことは、友達を大切に、責任感のある大人になれるよう頑張りたいです。(Tさん)

生活面で伸ばすことは、人前に出たの対応や緊張しないことです。これからも、思いやりを大切にしていきたいです。(Sさん)

## 本を読む 志を持つ



# 羽地中19期生が寄贈

羽地中学校卒業生第19期生(1967年6月卒業)の皆さんが、8回目の同期生会の席上で募金を募り、学校の美化用具購入に役立てほしいと本校を訪れてくれました。

実行委員13名を代表して、我部祖河区長の上間さん(写真左)や玉里さんから、18000円の募金をいただきました。母校への温情あふれるお志に感謝申し上げます。ありがとうございました。

頂戴しました浄財は、PTA会計環境整備部へ組み込ませていただき、美化用具購入に充てたいと思います。ありがとうございます。

校長室に保管している歴代の卒業記念アルバムを見てみると、当時の校門は緩やかな幅広い階段(スロープ?)が設置されていたようです。クラスも3年6組までであり、全校生徒700名以上の学校規模だったことが分かります。9月に校内陸上競技大会、10月に運動会が開かれ、運動好きな生徒が多かったことが想像できます。

